

第5回 豊川市本庁舎等整備基本構想・基本計画策定委員会 議事録

1 開催日時 令和6年5月17日（金）午後3時00分～午後4時30分

2 開催場所 豊川市防災センター 1階 市民研修室

3 出席者（敬称略）

【委員】11名 宇野 勇治（委員長）、益尾 孝祐（副委員長）、竹本 秀邦、
田中 みや子、中田 紘八、橋本 記久子、長谷川 完一郎、
伴野 雅章（代理：小澤 秀樹）、渡邊 万美子、相原 俊彦、尾崎 幸弘

【事務局】12名 桑野副市長、田中副市長
財務部 手塚財産管理監、佐野次長
財産管理課 小野課長、伊藤主幹、辻課長補佐、村田係長、竹下、宮城
ランドブレイン㈱ 伊藤、井上

4 議題

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

(1) 基本計画（検討案）について

- ・庁舎整備の方針（キャッチコピー）について
- ・配置計画（案）について
- ・豊川市本庁舎等整備基本計画素案（検討資料）について

(4) その他

(5) 閉会

5 議事内容

■(1) 開会

事務局より、開会の挨拶。

■(2) 挨拶

桑野副市長より挨拶。

■(3) 議事

(1) 基本計画（検討案）について

・庁舎整備の方針(キャッチコピー)について

事務局より、資料1「庁舎整備の方針(キャッチコピー)」について説明。

(質疑応答)

【 委 員 】	ご検討いただいたキャッチコピーについて、私見ですが、ワークショップからの提案内容の、「ちょうどいー“じゃん”！すべての人に“やさしい”庁舎」は豊川で育った人間としては、三河弁で「いいじゃん」みたいな感じで、住んでいる人にとってもこの言葉は良いと思います。
【 委 員 長 】	ワークショップのキャッチコピーの1番目の「ちょうどいー“じゃん”！すべての人に“やさしい”庁舎」、ですね。ご意見を踏まえて検討していきたいと思います。
【 委 員 】	資料に他市の事例もありますが、読んでいて少し長くて疲れてしまうような感じがするので、できればなるべく短く、みんながパッと分かるものが良いと感じます。私はこのキャッチコピー案が良いかどうかははっきりとは言えませんが、悪くないと思います。
【 委 員 長 】	「歴史をつむぎ みんなで創る 未来への庁舎」も良いのではないかと思います。
【 委 員 】	キャッチコピー案に出てきたこの「歴史」という言葉がありますが、この現況が松林の中にあるということで、キャッチコピー案へ松の木を入れていったらどうかと考えます。
【 委 員 長 】	「歴史」という言葉が入っていますが、もう少し具体的に「松林」などを入れたらどうかというご意見です。これもまた参考にさせていただきたいと思います。
【 副 委 員 長 】	庁舎についてはキャッチコピー、愛称を作ることはあまりないですかね。茨木市に愛称がついた施設や西栗倉村にあわくら会館などがありますが、そういう呼び方をする庁舎はあまりない気がしますでしょうか。また、キャッチコピーなのか、愛称なのか、どのように捉えられていますか。
【 事 務 局 】	例えば、豊川市でいうと小坂井の複合施設では葵風館という名称をつけさせていただきました。新たにできる一宮の複合施設についても同じように地元で呼びやすい親しみある名称があったら良いと思っています。しかし、本庁舎についてはそのような施設とはまた違うものなのか、多数の事例がある中で私が調べた範囲では本庁舎に愛称をつけるということはあまりありませんでしたので、今回ご提案したキャッチコピー案は特に愛称というイメージでは作っていません。
【 委 員 】	キャッチコピーということで、パッと見たときに、「歴史をつむぎ」というのは非常に良いと思いました。温故知新という言葉がありますが、どんどん歴史も変わっていく中で、やはり現在を大事にしながら将来どういうまちをつくっていくか、そのような意味で「歴史をつむぎ みんなで創る」というのは非常に良い

	と思います。過去、現在、未来、みんなが平等で自由、そういう何か一人一人を大切にしたいという思いが非常に強いものがキャッチコピーに繋がっていくと思います。しかし、「未来への庁舎」というのは、少し弱い気がします。「歴史をつむぎ みんなで創る」そして最後に「未来」。その辺りがもう少し何かあると良いと思います。
【委員長】	「みんなで創る 未来への庁舎」ということですが、私が思ったのが、何か未来を創るのが庁舎のような感じなので、庁舎を造って終わりではなく、庁舎ができてそれが次に繋がるよう、みんなで更にその未来を創る、そういう庁舎のメッセージになると良いと思います。
【委員】	この庁舎の理念、いわゆるどういう庁舎を造っていくかということをもとめるためのキャッチコピーなのか、それとも、その庁舎が出来てから利用していくためのキャッチコピーなのか、そこが少しわかりません。このキャッチコピーを作ったら未来永劫これが続くということではなく、庁舎を造っている間のキャッチコピーということではよろしいですか。
【事務局】	委員のおっしゃったように前者の方です。この建物を造るためのキャッチコピーと位置付けて考えていただければ良いと思います。
【委員】	「歴史」とか、創造の「創」を使われて、また「未来へ」という言葉が入っていて、本当に良いと思うのですが、他の委員がおっしゃられたように、少し長いと、そんなイメージがありますが、庁舎整備のこの段階でのキャッチコピーということですので、少し長くても目的がしっかりしていることがわかるものなので、これはこれで良いと思います。ただ、私見ですけれど、やはり新庁舎の愛称を決める場合はできるだけ短くしていただけたらと思います。
【副委員長】	先ほど他の委員がおっしゃったように、実際にはどういう場面で使うキャッチコピーなのか、その辺りがあまり想像できない気がします。プロポーザルやコンペをやっていく際のキャッチコピーなのか、それともでき上がってからのものなのか、そこで全く違うと思います。「みんなで創る」となると、委員長がおっしゃられたように、未来をみんなで創るという話になってくるでしょうし、これだとみんなで創るのが未来の庁舎ということであればやはり庁舎造りのためのキャッチコピーになっていると思います。どのタイミングで誰向けに発信するキャッチコピーなのか、その辺りはいかがでしょうか。
【事務局】	この事業を進めるにあたって、次のステップとして設計業務に入って参ります。設計業務を進める上で豊川市がどんなイメージをした建物を目指しているのかという1つの大きなテーマとして、このキャッチコピーを使っていただきたいと認識をしております。
【副委員長】	そう考えれば、「歴史をつむぎ」というのは松並木との関係を意識するところに繋がるし、「みんなで創る」というのは、ワークショップ等市民の参加によって進めていきますよということ、「未来への庁舎」については未来志向の庁舎を造っていきましょうと、そのような大きな呼びかけであるということであれば、私もプロポーザルやコンペの呼びかけのためと理解できると思います。
【事務局】	副委員長のおっしゃられたような形で、この敷地内にあります松や周辺の桜、公園等を含め、今まで先人たちが創られてきた「歴史」を踏まえた上で、そして「みんなで創る」というのは、議会の方からもしっかり市民の声を聞いた上で庁舎整備を進めて欲しいというご意見をいただいておりますので、そういったことを踏まえたものとなっています。それから「未来への庁舎」は、基本理念や方針の中にも可変性のあるように、庁舎を造った後にも人口等様々なことが変動する中で、その変化に対して対応できるよう可変性を持った庁舎ということで、未来に対応できる庁舎というイメージを3つ並べさせていただき、今回このような提案をさせていただいております。
【委員長】	私としては、バランスの良い案と感じています。一方で委員がおっしゃられたように、少しやさしい感じもあるので、例えば、これを設計者が見た時にちょっと触発されるような、もう少し工夫していただいてもいいですし、この案でいくという話でも良いと思いますが、いかがでしょうか。

【 事 務 局 】	今委員長がおっしゃったように、基本的には「歴史をつむぎ みんなで創る未来への庁舎」ということで、皆さん大きなご意見はなかったと感じていますが、一度事務局で検討し、改めて委員の皆さんに展開させていただきます。案については委員長とも相談しながら決定し、皆さんにご案内させていただきますので、よろしくお願いします。
-----------	--

・配置計画(案)について

事務局より、資料2「配置計画(案)」について説明。

(質疑応答)

【 副 委 員 長 】	A案自体は良いと思っていますが、他市の事例を見ると、庁舎の場合はやはりランドスケープ的に非常に美しく整えてあります。今回は松の保全に関して非常に意識的ですが、やはり駐車場に囲まれている感がありますし、立体駐車場にしないと2期工事をしたら駐車場が足りなくなる、平面駐車場だと置けないという話が出てくるでしょう。もう1つは豊川市の今回の敷地は北に公園であるということが魅力的だと思いますので、公園と一体的に繋がる点は意識して計画した方が良いのではないかと考えます。そういう視点から見ると、建物の周りが駐車場や駐輪場で囲まれてしまうのはイメージとしては残念に見えてしまうので、資料2のA—2案でプロポーザルを出す際、あまり駐車場や駐輪場の場所を指定しない方が設計者には伝わるのではないかと思います。どうすれば配慮できるかという事を含めたプランニングにしておく方が良いのではないかと思います。 それから事例の最後、長門市の例がありましたが、本庁舎の5階建ての建物をほぼ木造で造られている事例です。中に入ると本当に森の中に入ったかの如く見事な雰囲気がありましたので、今回の豊川の建物がどういう構造であるかはまた別の議論ですが、何らかのそういったチャレンジングなこと、また様々な環境配慮のあり方がありますが、木造で造るのか、もしくは低層棟はもちろんですが高層棟の部分はどういう新しい技術として提案していただくか、そういう意味では他の庁舎にない愛知県の中で豊川がちょっと突破したなというようなプロポーザルになっていくと良いと思います。
【 事 務 局 】	駐車場や駐輪場の表記につきましては、必要なものであることは設計者にも伝えるべきですので、その方法が図示なのか言葉なのか考えさせていただきます。少し後に説明します基本計画案の中でも最終的な駐車台数を示していますが、数字が載っていればあえて配置図上に駐車場の表記があるかどうかなど、委員長ともお話をさせていただきながら最終的にご報告をしたいと思います。 建物の構造につきましては、特に今指定する予定はございません。コストや工期など様々なことを踏まえながら、何ができるのかについては設計者の方からご提案をいただいた上で決定をしていきたいと思います。
【 副 委 員 長 】	新分庁舎の前にある駐車場ですが、ここにある程度台数を確保する方向性はあるのでしょうか。工期的にずれるとは思いますが、実態として、せっかく新しくなるのにこの本庁舎の周りに駐車場だらけに見えてしまうというのはもったいないので、新分庁舎の前の駐車場をどれだけの駐車台数を確保できるか、これは平面駐車だけではなく立体駐車場等もご検討いただければと思います。
【 事 務 局 】	仮設ではなく、しばらく本庁舎を活用しながらの建て替えということになると、おそらく新しく建物を造る工事の際に駐車場が減ることも想定されます。工事中でもできる限り駐車場が不足しないようにするためにはどうしたらいいのか、現在検討を行っておりますので、検討を踏まえ整理して参ります。
【 委 員 】	今日はたまたま防災センターでこの会議がありましたが、駐車場がいっぱいだったので西の外れの方に車を停めました。新本庁舎と防災センターの繋がりが前から気になっており、この繋がりをどうするのか。今このように考えてくれているので良いと思っていますが、本当に繋がりが悪いと思って今歩いてきたので、そこはすごく考えて欲しいと思います。
【 委 員 長 】	この点については様々な対処の仕方が考えられると思います。A—2案におい

	てこの繋ぎりの部分、駐車場と建物が重なったように表現されていますが、その辺りをうまく解決しながら、一番正面に見える一番いいところなので、例えばそこをどうデザインするか、というところがプロポーザルの中で提案する設計者のオリジナリティになってくると思います。うまくその辺のアイデアを引き出せるような枠組みで出していけると良いと思います。
【 委 員 】	A-2案について、6月2日に豪雨がありました、そのような時に駐車場から防災センターまでが遠いと考え、中間に建物があった方が良く、コネクティングスペースではないですが、そこをどう活用するかは、総合受付を持ってくる等いろんなやり方があると思います。よく校舎を橋で繋いでいるところがあったりしますし、建物があってもう1個このような中間に建物を建てることもある、そのような場合にどちらが安くできるか、建設コストの問題やこれから維持するにあたってそういう橋みたいなものはコストが上がるのか、どちらの方がいいのかお聞きしたいと思います。
【 事 務 局 】	具体的な検討は、今後設計業務に入っていく中で様々なご提案をいただきながら検討していくことと思います。規模、新本庁舎と2棟目がどのような構造になるかによってその繋ぎ方も様々な案が出てきますので一概にどちらが良い、悪いとか、どのような方法があるかということとはなかなか今の段階では言いづらい部分です。今後、設計者から様々な良い提案を引き出せるような形で今の段階では整理ができていると良いと思っております。
【 委 員 長 】	おそらくただの橋ということだけではなくデッキがあるようなもの等いろんなやり方があると思うので、今後楽しみに見ていきたいと思います。
【 委 員 】	2期工事で3つの庁舎をつなぐために北庁舎の南側に新しい庁舎を建てるということで、姫街道からの視認性もよく、確かにシンボリックな建物になると思うのですが、1つ心配されるのは北庁舎の南側に建てるということで、どのように繋ぐかは別として、北庁舎の明かりとり、暗くなるのではないかと。2つ目に、北庁舎と防災センターのこの1階の床の高さが違いますが、これをどのようにつなぐのかということ。今後設計段階での問題点になるかと思えます。ここを違和感なく市民や働く市の職員の方にも馴染めるような造りにしていっていただけたら良いと考えております。
【 事 務 局 】	1つ目の北庁舎の明るさの問題については、建築基準法という法律のもとに、どのぐらい建物の間を空けた方が良く、日影をどのぐらい落とさない方が良く、ということは考えていきますが、新本庁舎の2期棟としては低層棟で、平屋か2階程度の低い建物をイメージしており、北庁舎が日影で暗いということにはならないように配慮する予定です。 2つ目についてはおっしゃる通りで、床の高さが違います。実は現本庁舎と北庁舎も1階は一緒ですが2階で高さが違ってきます。渡り廊下を歩いていただくとスロープになっています。少し勾配がきついのではというご意見もありますが、ハザードマップではこの辺りはある程度浸水する可能性があるエリアとして位置付けられており、北庁舎はそれを踏まえて約1メートル上げています。例えば愛知県では「人にやさしい街づくりの推進に関する条例」の中で、室内については「15分の1以下」とスロープの決まった勾配がありますので、新しく造る2期棟の建物と北庁舎、新本庁舎とが当然行き来しやすく、建物間の移動で不便がないように計画していきたいと思っております。
【 委 員 長 】	おそらく新本庁舎と北庁舎は全部階高が違ってくることになると思うので、うまくスロープなどで解消しながら、デザイン的にも違和感なく上手にデザインしてもらえると良いと思います。また、今後もしA-2の案になるとすると、全部の庁舎が北にあるので、庁舎の呼び方も考えた方が良くと思います。 いろんなご意見をいただきまして、A-2案で良いという意向であると受け取りましたけれども、事務局のご提案通りA-2案を基本とした進め方でよろしいでしょうか。
【 委 員 】	意義なし。
【 委 員 】	資料2の他都市事例に掲載されている市町村は現在の豊川市と同じくらいの人

	口の市町村ですか。
【 事 務 局 】	各務原市と宇部市はほぼ同等の人口規模の市でございます。また、越谷市につきましては30万ほどの人口で、少し大きな規模の市です。長門市は豊川市よりも人口規模の小さな市でございます。1期棟や2期棟に想定する建物の規模などについては、本日お示しできませんが、改めてご提案させていただきたいと思えます。

・豊川市本庁舎等整備基本計画素案(検討資料)について

事務局より、参考資料1「豊川市本庁舎等整備基本計画素案(検討資料)」について説明。

(質疑応答)

【 委 員 】	第2章、デジタル化やマイナンバーを使うところについて、今は「書かせない・待たせない・来させない」とありますが、豊川市が新しくこうなりましたよといろんなところに発信できるぐらいICT化を忘れずにしっかり推進していただきたいと思えます。 第3章、冒頭で副市長からお話がありましたが、やはりこれからは人口が減ってくるので、そこを踏まえて駐車スペースや駐輪スペースをもう一度検討していただきたい。未来のことを考え、今の人口の配分や年齢別の人口等からこのくらい減るからこれだけ大きい駐車スペース、駐輪スペースはいらないのではないかとということも考えていただきたいと思えました。 また、副委員長からお話がありましたが、公園を整備したので、庁舎の北側を駐輪場で埋めるのではなく、そちらも正面であるような外観を考えていただいたら、楽しい庁舎になるのではないかと思います。私は三河一宮の出身ですので、一宮にできる複合施設と同時に豊川市のこの本庁舎も楽しいイメージでできたらと思えます。ご検討ください。
【 事 務 局 】	市としても、「書かせない・待たせない・来させない」といった3つの考え方で窓口にかかる時間を短くする施策として、窓口業務の支援システム導入のため今年度新たに予算化し実際に検討も始めており、それによって窓口の手続き時間の短縮、手続きの簡素化など、時間を短くできる取り組みを始めています。駐車場の台数についても、300台というのは過去5年間の中での目安として導いた数字ですが、これから事務の簡素化等を含めて庁舎に来なくても手続きができるようになった場合、駐車場を造り過ぎと言われないように、今後設計の中で検討しながら進めて参ります。 豊川公園との一体性については先ほど副委員長からもございました。大切なことですので、そちらもあわせて検討を進めたいと思えます。
【 委 員 長 】	ご指摘いただいた北側の公園とのつながりについて、例えば10ページに姫街道からの視認性、シンボル性については書いてありますが、書いてあれば、設計者としてもそこを見なくてはいけなくなると思えますので、北側の公園からの繋がりや景観等について可能であれば追加しておくと思いいます。
【 事 務 局 】	ご意見を踏まえた修正案を検討して参ります。
【 委 員 】	市民の手続きの場所としての市役所としては、各支所もありますが、今まで以上に通信網が発達すれば、直接この本庁舎に来る人数は減ってくると想定されます。それも踏まえた上で、この来庁者用駐車場300台ということでしょうか。
【 事 務 局 】	現在はまだ今後のDXやICT化を踏まえた駐車場の台数として設定したものではありません。しかし、これからスマート市役所を造ることによってどの程度の来庁者が減るのか、また人口もこれからどう減っていくのか、そのようなプラスアルファの視点で、駐車台数の見直しについて現在やれることはやっていますが、今後時代によって変わってくところはしっかり認識し、設計の中でも検討しながら進めていきたいと思えます。
【 副 委 員 長 】	議会は様々な市庁舎で開かれた場所に置いているパターンが結構あります。豊

	川市のプランニングでは中高層階の市民にあまり開かれていない場所に配置すると決まっているのでしょうか。また、段床方式になると議会は常に閉じた形で、ホールとして活用するようなフレキシブルに使うことはあまり想定していないということになり、そういう設計に繋がっていくと思うのですが、そのような発注にすることによって良いのでしょうか。
【事務局】	「開かれた議会」ということについては、参考資料1の14ページ、方針9で「多様な市民が議会の傍聴することができるよう計画します。また障害のある議員や市民が議場や傍聴席等を不便なく利用できるように計画します。」と書かせていただきました。ここでは、特に何階でなければいけないと定義しておりませんが、おそらく1階や2階に窓口部門を持ってこようとする、議場というのが天井高等様々な問題があり、中間階に入れ込むのはなかなか難しいので、一般的には下に置くか上に置くかという考え方が多いと思います。今後、設計の中でこの「開かれた議会」というテーマに基づいてどんな設計プランが出てくるのか、まずはプロポーザルの中で意見を聞ければと思っています。しかし、新本庁舎を造った後、今議場がある本庁舎を取り壊す予定ですので、その間新庁舎にスムーズに移行していただくために、新本庁舎の1期棟の方に議場を造っていくという方針だけは固めていきたいと思っています。それ以外の部分については、これからご提案をいただく中でより良いものを造っていききたいと思っています。
【副委員長】	26ページの断面的な図では、中高層階、低層階の役割が整理されています。この階構成のところでここまで縛ったプロポーザルやコンペにするのか、その辺りはプロポーザルでどこまで表現するのかにもよりますが、これだともう議会はここだと決まっているように見えるので、そこまで決めてしまうのがプロポーザルとしてよろしいのかどうかという辺りは気になります。
【事務局】	現在、議会の方でも政策課題調査特別委員会が設置されており、その協議事項として新本庁舎整備に関する考え方をご検討いただく機能を持っています。その中で今の議会としてどのような形で整備を進めると良いのか、こちら事前にも照会調査をする中で伺いし、今の段階での考え方としては14ページにある基本方針のフレーズで進めて欲しいということを確認しながら進めております。議会の意見を伺いながら定めた言葉としてご理解いただければと思います。 階構成につきましては、再度検討して、表現を含めて検討して参ります。
【委員長】	「開かれた議会」と言った場合、気持ちは開いていますというレベルから、物理的に市民が日常的に使っているフロアにあり、議会が開かれているといったような物理的に開いているレベルなど、様々な開き方はあると思います。副委員長の言われたように、議場を平場にしておけば、例えば、そこで違う目的で使ったり、何かのイベントで使ったりできます。また、議会というものに対して親しみを持って触れることができると思います。背広を着た立派な方がいるというイメージではなく、自分たちにとって身近な空間であることによって、議会や行政というものに対して本当に身近に思ってもらえることにもなると思うので、それをどのレベルで開かれたものにするか、いろいろ考え方はあると思いますけれども、せっかくの機会なのであまり縛り過ぎない方が良いという印象を私も受けました。
【事務局】	議会と対話する場が今後もございますので、策定委員会としてのご意見としてご報告し、改めて方針についてご検討いただくように進めていきたいと思っています。
【副委員長】	先ほど公園と一体的にするという話がありましたが、図書館が少し閉鎖的に使われる可能性もあるので、できれば図書館と市庁舎と公園が一体的になって、将来的には図書館がもう少し利用できるような感じになると良いと思います。あまり利用される感じがしないのがもったいないと思っており、その辺りも含めて将来的に意識しておくとう良いと思います。
【事務局】	ご意見を踏まえ、表現を含め検討して参ります。

■(4) その他

次回開催予定日時の調整。令和6年8月2日を予定。

■(5) 閉会

事務局より、閉会の挨拶。

以上